

## McObject の eXtremeDB が I-Logix の UML ベースの開発環境 Rhapsody に統合

イサコア、ワシントン州 - 2005.12.12 -組込み用インメモリデータベース **eXtremeDB™**を開発した McObject は、I-Logix 社の Rhapsody に **eXtremeDB**を統合したことを発表しました。Rhapsody は UML ベースのオブジェクト指向開発環境で数々の賞を受賞しています。 **eXtremeDB**と Rhapsody の統合は、データ管理機能を必要とする高品質の組込みアプリケーションのより早い市場投入を可能にします。

Rhapsody プロジェクト内で **eXtremeDB**を認識し、Rhapsody のプロパティファイルに統合されることが主要な機能となります。 **eXtremeDB** の開発者とともに作業できるように構成された I-Logix のツールは、開発者のアプリケーションやシステムを視覚的にモデル化することが可能で、また **eXtremeDB** の API を使用したり、Rhapsody の内部からデータベースと相互に作用したりするコードを生成することが出来ます。さらに、この統合はプロパティファイルを通して、さまざまなリアルタイムの組込みアプリケーションをリアルタイム OS 環境へ展開することをサポートし、さまざまなアーキテクチャや環境に対するプラットフォームのソリューションを迅速にかつ容易に実現します。

“**eXtremeDB**-Rhapsody の統合は、両社が広く使われているミリタリー、航空宇宙、通信、自動車、産業といった McObject の顧客の要求により達成されました。”McObject の CEO 兼共同設立者の Steve Graves は今回の経緯を説明し、次のコメントを出しました。

“これらの市場では、我々の顧客はデータ管理を必要とする、より複雑なアプリケーションを絶えず開発しています。これらの要求に対応するため、組込みデータベースと組込みアプリケーションのコアロジックを自動的に結合する技術を提供することが良い方法であると、我々両者共有の顧客から提案がありました。今、リアルタイムの組込み開発者は、より簡単に **eXtremeDB** を初期化し、いろいろなトランザクションを実行するためにデータベースに要求を出し、操作中のデータベースを維持するといったことが全て Rhapsody MDD 環境で実現可能です。”

直に効果が出せるよう、McObject は無償で Rhapsody のインテグレーションキットを提供します。それには、Rhapsody プロジェクトに必要な **eXtremeDB** 固有の構成ファイルや **Getting Started Guide** が含まれます。このキットは、**eXtremeDB HA** 等のすべての拡張版や各種のプラットフォームにも対応しています。

“I-Logix の Rhapsody は、より複雑さを増す組込みシステムのアプリケーションで急速に採用されています。このレベルの洗練されたプロジェクトではいつもデータ管理の要求があり、それは自作のソリューションの能力を超え、そこに実証されたリアルタイム性能の組込みデータベースを採用する価値がある。”と Graves は語ります。

“Rhapsody モデルが作成するほとんどのモデルは、プロセスと引き渡されるデータで構成され、**eXtremeDB** の統合はアプリケーションモデルにデータ管理機能を容易に追加することを可能にしました。I-Logix は McObject とパートナーになれたこと、そして **eXtremeDB**と Rhapsody の統合が、我々の顧客が著しく生産性を上げる方法を提供できることを非常に喜んでいます。“I-Logix の Vice President George LeBlanc は今回の統合についての感想を述べました。

### **Rhapsody** について

I-Logix の Rhapsody は、UML を用いたシステム設計、アプリケーション開発の共通のプラットフォームとして多くの賞を受賞しています。Rhapsody は、デザインや開発を行うチームが、リアルタイムの組込みアプリケーションを作成

する場合に使用されます。Rhapsody はグラフィックと UML プログラミングをユニークに結合し、進んだシステム設計と分析能力をもち、ターゲットに使われる言語とシームレスにリンクします。その結果、分析、デザイン、移植、テストの各エリアから来る要求を満たした完全なオブジェクト指向開発環境となっています。

Rhapsody 6.0 は、開発者の方法論や言語の好みに左右されない、直感的で自然に使える方法で、UML ベースのモデリング、シミュレーション、コード生成やテストにおいて多くの革新的な技術を実装しました。その結果、それぞれの開発者が生産性を上げ開発チームの全体の効率が急速に向上します。

### **eXtremeDB について**

McObject はインテリジェントでネットワークに接続されたデバイスの、制限されたリソースで、顧客の性能要求を満たすデータベース管理システム: *eXtremeDB* を提供します。*eXtremeDB* は、トランザクション、データの同時アクセス、ハイアベラビリティ、高級データ定義言語などの特徴を持ちつつ、小さなフットプリントでクリティカルなデータ管理を実現します。インメモリデータベースシステム (IMDS) として、家電製品、ネットワーク製品、産業制御などの組み込みシステムに必要とされる、リアルタイムの応答性能を提供します。

また、*eXtremeDB* は非常に洗練された開発用の機能があり、多様なデータタイプとクエリのサポート、高級データ定義言語と、広範囲のプログラムエラーがランタイムコードに潜り込む前に捕らえることが出来る自己診断 API を含む強力なデバッグ環境を提供します。また、SQL インターフェースオプションも用意しています。

### **I-Logix 社について**

I-Logix は 1987 年に創立され、リアルタイムの組み込みシステムに焦点を当てた、システムデザインからソフトウェア開発までの MDD (Model-Driven Development) ソリューションの世界最先端を行く会社です。I-Logix のソリューションはチームの規模に関係なく、組み込みシステムの要求・振る舞い・機能をグラフィカルにモデル化します。デザインは開発プロセスのいたるところで分析・評価・テストを繰り返し、量産レベルの品質を持つコードとして様々な言語で自動的に出力されます。I-Logix はユニークなプロジェクトとタスク管理の能力を UML ベースの MDD ソリューションによりチームの共同開発を容易にします。また、メンバーがどこにいても、プロダクトの概念から実際のコードにいたるまで、チーム内でのデザインレビューを可能にします。I-Logix はマサチューセッツ州アンドーバーに本社を置き、北米・ヨーロッパ・極東のいたるところにセールスとサポートのチームを置いています。I-Logix のサイト：[www.ilogix.com](http://www.ilogix.com)

### **McObject 社について**

McObject 社は、データベースとリアルタイムシステムのエキスパートによって設立され、既存のインテリジェントデバイスを、よりスマートで信頼性を高くかつ低コストに開発・保守を可能にするためのテクノロジーを提供します。*eXtremeDB* インメモリデータベースは既に多くの採用実績があります。各業界でのリーダーであるダイムラークライスラー、EADS、タイコサーマルコントロール、日本ビクター、F5 ネットワークス、ジェネシスマイクロチップ、モトローラ、ボーイング等を顧客に持ち、販売・サポートを行っています。McObject 社は米国ワシントン州イッサクアーに本社を構え、革新的技術とサポートを提供しています。日本国内では、ガイロジック株式会社(本社 東京、代表取締役 垣内 寛)が総代理店として製品の販売を行っています。

### **商標について**

McObject 及び *eXtremeDB* は McObject LLC の登録商標です。ここに記載された他のすべての会社と製品の名称は各所有者の商標あるいは登録商標です。